02 PLANTS IN THE GARDEN | 庭園の植物

東京都庭園美術館の庭園では、さまざまな植物を楽しむことができますが、なかでも美しい花や実を付ける草花・樹木をご紹介します。
ここにご紹介するもの以外にも四季折々の花々がありますので、散策と共にお楽しみください。

ロウバイ 落葉低木

新春の花の少ない時期に貴重な花を咲かせる。花は香りがよく、花びらには厚みがある。

カンツバキ 常緑低木

樹高が低く、枝は横に広がる。先端が尖った濃い緑色の葉を茂らせる。

ツバキ 常緑低木

多様な園芸品種があり、花色も桃色、赤、白などさまざま。葉には照りがある。花弁が散らず、花全体がポトリと落ちる。

サザンカ 常緑小高木

野生種は秋〜冬に白い花が咲くが、ツバキとの交配種などの園芸品種は花の色も形も多様で、花期も冬〜春先に及ぶ。

ウメ 落葉小高木

原産国の中国では四君子と呼ばれる植物のひとつ。日本でも古来より親しまれ、万葉集の和歌にも多く詠まれている。

ユキヤナギ 落葉低木

無数の白い小花が枝もたわわに咲き、枝垂れる姿が美しい。小米柳の別名をもつ。紅葉も美しい。

ジンチョウゲ 常緑低木

香料の沈香と丁子をあわせたような香りの花という意味で名づけられた。春先に小さな花が塊になって咲く。

ヒイラギナンテン 常緑低木

花色は黄。花後の青紫色の実は、秋には黒紫色に熟す。冬季に、気温の具合によっては葉が美しく紅葉する。

アセビ 常緑低木

ブランデーグラスをさかさにしたような、鐘形の白い小花が鈴なりに咲く。漢字名は馬酔木。

ミツバツツジ 落葉低木

早春、葉が出る前の枝に小ぶりの花が咲く。花色は紅紫色、白など。日陰を好む。

トサミズキ 落葉低木

名前の通り土佐（高知県内）に多く生育している。伝統的な生け花の世界では「ミズキ」と呼ばれ親しまれている。

ハクモクレン 落葉高木

日なたを好み、早春に芳香のある大きな白い花を咲かせる。果実は握りこぶしのような特異な形になる。

ソメイヨシノ 落葉高木

日本の春を象徴するバラ科の花木。古来より日本人に親しまれ、多くの和歌に詠まれてきた。種類も豊富。

オトメツバキ 常緑小高木

古くからあるユキツバキ系の園芸品種。ツバキの中では遅咲きで、花びらが多いのが特徴。

ヤマブキ 落葉低木

鮮やかな黄色の花が咲くバラ科の植物。半日蔭を好み、群落を作る。英国ではジャパニーズ・ローズとも呼ばれる。

ドウダンツツジ 落葉低木

花はツツジには似ていない。スズランを思わせるつりがね状の白い小花がぶら下がるように多数咲く。紅葉も見事。

ゲッケイジュ 常緑高木

葉に芳香があり、「ローリエ」の名で料理に使われる。淡黄色の小さな花を咲かせる。

フジ 落葉つる性植物

つる性の花木で、「万葉集」にもその名が登場するほど日本では親しまれてきた。花房が垂れ下がって咲く姿は見事。

エビネ 多年草

日本に自生するラン科の多年草。乱獲により野生種が激減してしまった。半日陰を好む。園芸品種も多く、花色もさまざま。

カルミア 常緑低木

金平糖のような蕾が特徴的。満開時に木全体を覆うくらいの花を咲かせる姿は見事。

サツキ 常緑低木

常緑性ツツジの一種。花色は朱紅色、紅紫色、白など。一つの株に単色咲きや絞り咲きが混在して咲く種類も多い。

ビヨウヤナギ 半落葉低木

中国原産のオトギリソウ科の花木。長い多数のおしべが特徴的な山吹色の花が咲く。中国では金糸桃とよばれる。

シュロ 常緑高木

ヤシ科の樹木で枝はなく幹がまっすぐ伸びて、葉を四方に伸ばす。初夏に粒状の花を咲かせる。

ウツギ 落葉低木

ウツギの名は枝の内部が空洞になることが由来。旧暦の「卯月」に花を咲かせることから「卯の花」の別名がある。

ハクチョウゲ 常緑低木

密に茂るため、生垣に多く使われる。初夏に小さな花を咲かせる。

キミガヨラン 常緑低木

北米原産、花茎を長く伸ばし黄白色で鐘のような形をした花をつける。日本には明治以降に渡来し、広まった。

アジサイ 落葉低木

日本原産。花びらのように見える部分はがく片。花の色がだんだんと変化することから、「移り気」の花言葉をもつ。

ムラサキシキブ 落葉低木

秋に光沢のある紫色の実をつける。山地の湿地や森林に自生している。葉は秋に黄葉する。

サンゴジュ 常緑小高木

初夏に白い小花が集まって咲く。赤く色づいた実をつけた秋の姿も魅力的。

クチナシ 常緑低木

強い芳香をもつ白い花が咲く。実からは黄色の色素がとれ、食品の着色などに利用される。

キョウチクトウ 常緑低木

インド原産。排気ガスに強く、道路の植栽などに多用される。

キキョウ 宿根草

秋の七草のひとつで、日本でも古くから親しまれている。国内では自生する場所が減り、絶滅危惧種となっている。

センリョウ 常緑低木

お正月に飾る縁起物の植物。葉は十字に広がり、実は鳥が好んで食べる。

ヤブミョウガ 多年草

花は一日花。名は藪地に自生して、葉が茗荷に似ているところからきている。

ギボウシ 宿根草

日本に数多くの種類が自生しており、葉色や葉脈が美しい。日陰でも良く育つ。

オニユリ 球根植物

ユリの原種のひとつ。「珠芽」（むかご）という養分をたくわえ肥大化する部分ができる。

サルスベリ 落葉高木

樹皮がつるつるしていることがその名の由来。花期が長く、百日紅の別名をもつ。濃淡のピンクのほか、白い花もある。

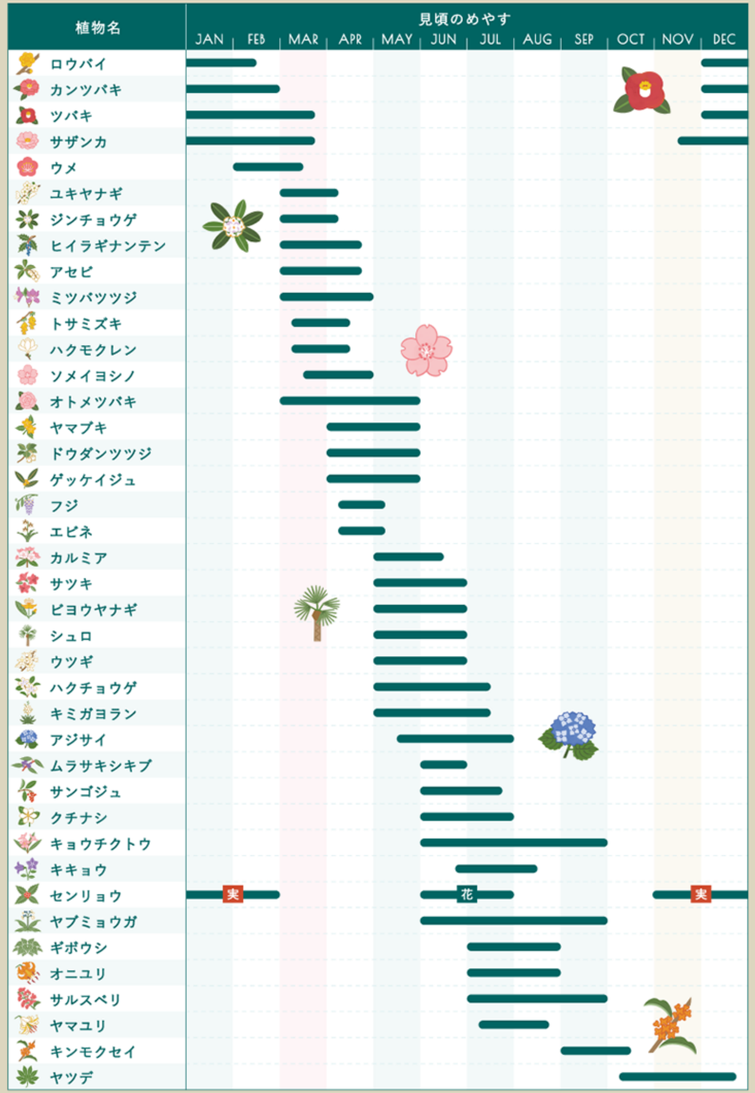
ヤマユリ 球根植物

日本原産で、明るい木陰や斜面を好み自生している。強い芳香が魅力で、花の香りは広い範囲まで届く。

キンモクセイ 常緑小高木

中国原産。橙黄色の小花が多数咲き、強い芳香がある。花の香りを生かしたお酒やお茶も作られる。

ヤツデ 常緑低木

邪気を防ぐとして古くから玄関脇などに植えられてきた。別名「天狗の葉団扇」。

03 PLANTS CALENDAR | 開花のカレンダー